

## 採点支援システム使用に係る仕様書

### 1 使用期間

令和8年4月1日から令和11年3月31日まで

### 2 使用場所

市内各中学校（5校）

No.	学校名	郵便番号	住所	電話番号
1	龍野東中学校	679-4122	たつの市龍野町日飼 100	0791-62-1117
2	龍野西中学校	679-4003	たつの市揖西町小神 30	0791-62-3681
3	新宮中学校	679-4311	たつの市新宮町宮内 426	0791-75-0079
4	揖保川中学校	671-1621	たつの市揖保川町正條 471	0791-72-2673
5	御津中学校	671-1342	たつの市御津町朝臣 414	079-322-0550

### 3 システム利用環境

利用対象校の教職員が使用するすべての校務用パソコンで利用できるものとする。パソコンの利用環境等の詳細は次のとおりとする。

ア 基本OS：Windows10 以上

イ ブラウザ：Google Chrome 又は Microsoft Edge（Chromium 版）

ウ 利用方式：クラウド方式（システム利用のショートカットを準備するなどにより利用可能であり、ソフトウェアのインストールが不要であること）

エ スキャナ：学校にあるものを利用する（読み取り解像度：200dpi 以上）

オ アプリケーションを複数使い分けることなく、1つのシステムで操作が完結すること。

カ 第三者がアクセスできないようIP 制限を行うこと。

キ IP 制限を掛けた拠点外においても個人情報を表示しないセーフティ採点機能を有すること。

### 4 システム機能

次のような機能を実現できるシステムであること。

#### (1) 生徒・教員データ管理

ア 生徒・教員情報の追加・削除・編集、また、これらが一括でも可能なこと。

イ 生徒に任意のグループを設定し、グループ別に答案の取り込み・採点を行えること。

ウ 転出した生徒がいた場合、答案取り込みに支障が出ない仕組みであること。

#### (2) 事前設定機能

ア システムへ取り込む答案の用紙サイズ・枚数・表裏有無には制限がないこと。

- イ 模範解答（白紙答案）の解答枠を自動で認識・作成が可能なこと。
  - ウ 模範解答画像に直接、解答欄（記述・マーク）位置・設問番号・配点・観点を一括設定できること。
  - エ 設定内容は、配点別・観点別で色分けされること。
  - オ 設定した得点を各観点・大問ごとに確認できる機能を有すること。
  - カ 自動採点可能なマークシート方式の解答欄が記述式解答欄と混在して使用可能なこと。専用紙が不要であり、範囲選択により一括でマーク枠設定が可能なこと。
  - キ 設定内容は採点中・結果出力後でも採点結果を保持した状態で変更可能なこと。
  - ク 作成した試験設定情報を複製して利用できること。
- (3) スキャンデータ取り込み機能
- ア 複数枚及び両面答案の取り込みができること。
  - イ 傾きやズレ、天地逆転となった答案を、自動補正する機能を有すること。
  - ウ 答案の割り当て生徒を画面上で確認し、割り当てを変更できること。
  - エ 欠席した生徒には答案を取り込まない設定が簡単にでき、後日、欠席生徒分のみを再取り込みできること。
  - オ 取り込んだ答案の濃度補正が可能なこと。
  - カ 出席番号を読み取る事で、答案用紙と生徒マスタの自動名寄せが可能なこと。
- (4) 採点機能
- ア 生徒ごとの答案を1枚ずつ、また、同一設問の解答を並べて表示して採点できること。
  - イ 同時に表示可能な解答数には制限が無いこと。
  - ウ 統合・分割作業を行うことがなく、設問単位で、全クラス分一斉に採点が可能なこと。また、設問ごとに分担し複数の教職員が同時に採点可能なこと。
  - エ キーボードによる採点、クリックによる採点、また、○×一括採点ができること。
  - オ 解答の並び順を、出席番号順・採点結果順・OCR 自動認識順から選択できること。
  - カ 複数色の付箋が貼り付け可能なこと。また、設問一覧で付箋有無が確認可能なこと。
  - キ 添削コメントの内容はテキスト編集でき、縦書き横書きのいずれかを選択できること。
  - ク 作成した添削コメントをクリック操作で、各解答に連続入力できること
  - ケ 得点スタンプは、スタンプ押下と同時に得点に反映されること。また、解答毎に加点方式又は減点方式のいずれかを選択可能とすること。
  - コ 様々な添削スタンプが利用可能なこと。また、自由線での添削も可能なこと。
  - サ 選択肢やマーク、数式（分数やルート、文字式など）の自動採点を行うことができること。
  - シ 一定時間毎に採点結果の自動保存が可能なこと。また、自動保存のON/OFF を選択可能なこと。
- (5) 結果出力機能
- ア 集計した観点・小計別の得点及び合計点、設問データがExcel 形式で出力できること。

イ 採点結果は、スキャンした答案のデータに○、×又は△の記号が表示され、生徒別にPDFファイルで出力できること。

ウ 平均点や大問別、小問別の得点等が表示された個人成績表が出力できること。

エ 複数の教科の試験結果を集約した個人成績表が出力できること。

オ 個人成績表では、偏差値・順位・平均点の表示が可能であり、表示有無については自由に設定できること。

カ Classroom の課題機能を用いて、生徒のGoogle ドライブに直接答案返却可能であり、答案・得点・平均点をClassroom の課題一覧から確認できること。また、生徒答案リンクが生徒個別に作成されないなど視認性への配慮を行うこと。

#### (6) 分析機能

ア 設問別の正誤分布や平均点などを、一覧で確認できる画面があること。

イ 観点別・大問別の平均得点率を、クラス毎に確認できるグラフで表示できること。

ウ 教科の総合得点率の度数分布を、クラス毎に表示する機能があること。

エ クロス集計ができること。

オ 生徒個人の成績推移が確認できること。

#### (7) アンケート機能

ア テストの採点と同様に、スキャナで読み込んでアンケート集計ができること。

イ 専用紙は必要なく、用紙の種類やサイズに制限がないこと。

ウ マークシート形式の質問については、自動集計ができること。また、画面上での修正が可能なこと。

エ 集計した結果は、グラフ付きのExcel 形式で出力できること。

### 5 セキュリティ対策その他

#### (1) データセンターその他

ア データセンター及びサーバ環境は、「ISO/IEC 27017 による認証取得」「JASA クラウドセキュリティ推進協議会 CS ゴールドマーク」「米国 FedRAMP」のいずれかを満たすパブリッククラウドサービスであること。

イ 24時間365日の利用を原則として、定期メンテナンス期間を除き、98%以上の可用性を確保できるハードウェア構成であること。

ウ サーバは毎日バックアップを行い、1週間程度データを保持できるものであること。

エ データセンターとのインターネット通信は、TLS1.2 により暗号化できること。

オ 保存されるデータは全て暗号化して保存できるものであること。

カ WAF を導入し不正アクセスを検知・遮断できること。

#### (2) ウイルス対策等

ア 受注者は、適切なウイルス対策及びマルウェア対策を行い、不正プログラムによる情報の改ざ

ん、毀損及び漏えいなどを防止すること。

イ 受注者は、事故が発生した場合は速やかには発注者に報告し、適切な対応措置をとること。

ウ 受注者は、事故による損害が生じた場合、発注者に対して一切の責任を負うこと。

### (3) 権限管理等

ア 受注者は、利用者が操作・閲覧等可能な情報の範囲を、当該利用者が所属する学校の生徒に係る情報に限定するような制限を適切に行うこと。最低限度の権限管理として、学校を超えたデータ閲覧が発生しないように、適切なアクセス制限を行える環境とすること。

### (4) 情報資産の取り扱い

ア 受注者は、本業務の遂行に当たり発注者の所掌する情報資産の保護（データバックアップを含むものとする。）について万全を期すものとし、その機密性、可用性及び安全性を維持する上で必要な対策を行うこと。

イ 受注者は、本業務を履行する上で知り得た情報を正当な理由なく第三者に与え、本業務の履行目的以外に使用することがないようにすること。

ウ 採点結果のデータは、契約期間内全てを保存できることとするが、スキャンを行った答案データ及び答案PDF については、年度移行時に過年度データを適切に削除し、発注者に書面により報告すること。また、契約期間終了後は、それまでのデータを発注者に引き渡し、引き渡した後は、速やかにデータを削除し、その旨、発注者に書面により報告すること。

エ 採点システムサーバ内の採点結果や答案画像は全て暗号化して管理すること。

### (5) リスク管理

ア 受注者は、情報資産の保護（内部セキュリティ対策）に係る人員体制を整備すること。

イ 受注者は、不正な変更が発見された場合に、発注者と連携して原因を調査・排除できる体制を整備すること。

ウ 受注者は、責任者及び業務従事者の管理体制及び実施体制、個人情報管理状況について書面で報告すること。

エ 受注者は、ISO/IEC27001(情報セキュリティマネジメント規格)を取得していること。

オ 受注者は、ISO/IEC27017(クラウドサービスの情報セキュリティ)を取得していること。

## 6 協議事項

- ・ 本仕様書に記載のない事項については、発注者と受注者が協議し決定する。